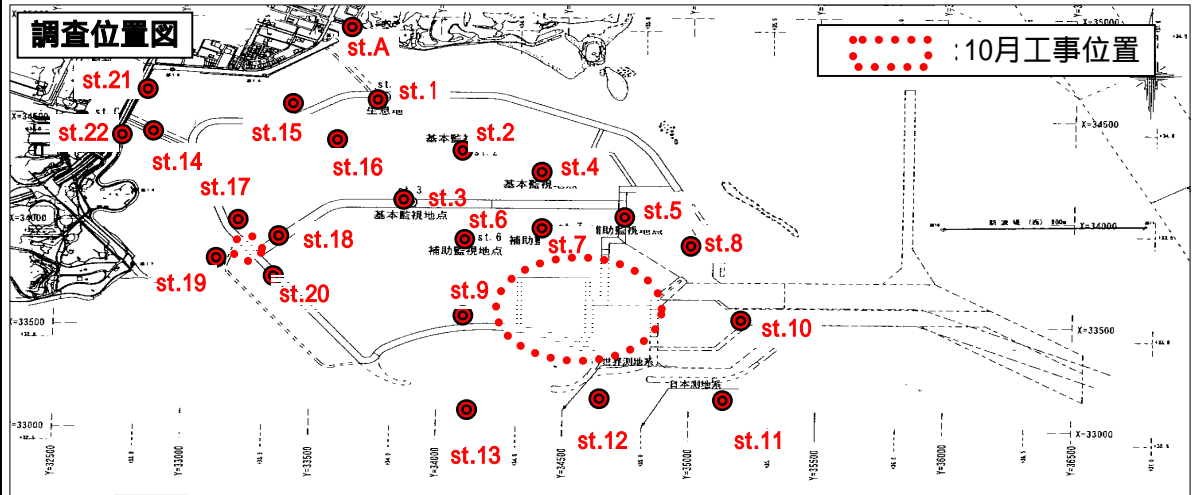


		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討	
目視観察結果	目視観察の結果、工事に伴う異常は確認されなかった。				
	全般結果	基本・補助監視地点 基準値:SS=7mg/l	・基準値を超える値は観測されなかった。	・対象期間を通して、工事現場周辺(St.5~13、17~20)から工事に由来すると考えられる基準値を超えた濁りは観測されなかった。 ・観測された濁りは、台風の影響および波浪や低潮位時における底質の巻上げ、降雨による流入水路からの濁水の流入などが影響していると考えられる。	
工事現場周辺監視地点 基準値 St.5~7:SS=7mg/l St.8~13、St.17~20: SS=11mg/l		・基準値を超える値は観測されなかった。			
その他の監視地点 基準値:SS=11mg/l		・基準値を超える値がSt.14で観測された。 ・St.14 = 26回(12~65mg/l)			
流入水路部		・SS = 11mg/lを超えた回数: St.A = 52回(12~90mg/l)、St.21 = 40回(12~165mg/l)、St.22 = 50回(12~458mg/l)			
水質調査結果	基本・補助監視地点	・基準値を超える値は観測されなかった。	・工事由来の濁りは観測されなかった。	・特に無し	
	工事現場周辺監視地点	・基準値を超える値は観測されなかった。	・工事由来の濁りは観測されなかった。		
	詳細結果	その他の監視地点	・St.14では1~4日、8、9日、13~20日、22、24、26、28~31日に基準値を超えた値が観測された。最高値は8日午後(65mg/l)に観測された。		・工事現場周辺では工事に由来すると考えられる濁りは観測されていないため、降雨による流入水路からの濁水の流入、波浪や低潮位時における底質の巻上げなどが影響していると考えられる。
		流入水路部	・St.Aでは1~31日に11mg/lを超えた値が観測された。最高値は8日午後(90mg/l)に観測された。 ・St.21で1~9日、12~31日に11mg/lを超えた値が観測された。最高値は8日午後(165mg/l)に観測された。 ・St.22で1~31日に11mg/lを超えた値が観測された。最高値は8日午後(458mg/l)に観測された。		・流入水路からの濁水の流入や波浪による底質の巻上げなどが影響していると考えられる。
生物監視調査	生物監視調査実施予定は以下のとおり。 ウミヒルモ類監視調査:11月・2月 ニライカナイゴウナ調査:11月・2月 オサガニヤドリガイ監視調査:11月・2月 オキナワワラガニ生息監視調査:11月・2月				
その他	・仮設橋梁汚濁防止膜設置及び撤去:3~7、20、21日(合計7日) ・仮設橋梁石材投入:11、12、17~19、24~28、31日(合計11日) ・海上汚濁防止膜設置及び撤去:3~7、20日(合計6日) ・海上石材投入:3~6、13、14、17~21、24~28、31日(合計17日) ・1~2日及び13~16日:強風のため海上調査地点の濁り監視調査休止(13,14日海上石材投入を除いて、工事作業休止)				